

低入札価格調査結果調書

- 1 調査対象工事件名：三沢米軍(29)管理棟(0423)既設建物解体等工事
- 2 入札日：平成29年12月20日
- 3 調査対象業者名：昭和建設株式会社
- 4 調査概要

調査事項	調査結果
当該価格での入札理由	当該価格により入札した理由は、手持工事が平成30年1月及び3月に完成し会社としての手持工事が無くなり、社内の待機社員もいることから、社員の仕事を確保するため確実な受注ができるように経費を圧縮して当価格で入札をされたもの。
入札価格の適切性	<p>入札価格のうち直接工事費は、未計上は見受けられず、協力会社は、基地内において同種工事の施工実績もあり、自社との連携も十分とれ、また、協力会社との永年の取引実績により見積額の低減につながり価格を低く抑えられたものである。</p> <p>経費のうち調査対象者との大きな価格差が生じているものは一般管理費等であり、これは、手持ち工事が無くなり新たな工事を確実に確保するため受注の希望が強く、会社の経費は計上しつつ利益を圧縮することで削減されたものである。</p> <p>共通仮設費及び現場管理費は、協力会社と長い取り引きがあり、また協力会社は基地内の状況にも精通し、自社と協力会社との連携も十分図れ、工事に伴う調整も円滑に行えることから当該価格は会社として工事を実施するために必要な価格を計上したものとなっている。</p> <p>よって、入札された工事費内訳明細書において、設計図書の内容に適合した施工可能な工事であると判断した。</p>
手持ち工事の状況と技術者の適正配置	問題なし
手持ちの資材、手持ち機械の状況	該当なし（手持ち資材） 問題なし（手持ち機械）
労務者の供給見通し	協力会社（取引年数から問題なし）
過去に施工した公共工事の施工状況	問題なし
経営状況及び信用状況	経営状況、問題なし。 信用状況、問題なし。

- 5 当該工事についての適正履行の有無 有
- 6 落札の決定 平成30年1月19日 昭和建設株式会社